

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（ JHPCN）第10回シンポジウム報告

著者	江川 隆輔
雑誌名	SENAC : 東北大学大型計算機センター広報
巻	51
号	3
ページ	27-27
発行年	2018-07
URL	http://hdl.handle.net/10097/00125107

【報 告】

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN） 第10回シンポジウム報告

江川 隆輔

スーパーコンピューティング研究部

この時期恒例となりました学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点シンポジウムが、平成30年7月12日、13日の両日、東京品川The Grand Hallにおいて開催されました。本シンポジウムは今回で第10回を迎え、多数の参加者のもと活発な議論が展開されました。

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究は、東北大学、北海道大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学にそれぞれ附置するスーパーコンピュータを持つ8つの



東北大学とモスクワ州立大学との共同研究成果発表の様子

の共同利用の施設を構成拠点とする「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点」が、超大規模数値計算系応用分野、超大規模データ処理系応用分野、超大容量ネットワーク技術分野、およびこれらの技術分野を統合した大規模情報システム関連研究分野、更には分野間に亘る複合分野の研究者らと取り組む学際的な共同利用・共同研究です。昨年度から、HPC分野の裾野拡大と我が国の高性能計算に関する研究の活性化を目的に、従来の一般共同研究枠に加えて、国際共同研究、企業共同研究、萌芽的研究枠が設置され、将来の我が国の学術・研究基盤の更なる高度化と恒常的な発展が大いに期待されています。これまで平成22年度から29年度の8年間ににおいて309件の課題が学際大規模情報基盤共同利用・共同研究として採択されており、そのうち当センターとの共同研究課題は、57件ありました。平成30年度は国際共同研究3件を含む52採択課題のうち、9件が当センターとの共同研究として採択されております。

本シンポジウムでは、昨年度採択された46件に及ぶ研究課題の成果発表、および今年度採択された92件の研究課題のポスター発表を通して積極的な議論が交わされました。今年度の東北大学との共同研究として採択された課題の成果は、JHPCNウェブページ¹⁾にて公開されております。ご興味のある方は是非、先進的、且つ多様な共同研究成果をご覧ください。来年度も、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の研究公募行う予定でおります。ご興味のあるかたは奮ってご応募ください。当センターの計算機科学を専門とする教員との共同研究の可能性を検討したい、手続き方法が分からない等、本応募に関して不明な点などあります場合は、お気軽に当センター共同研究担当窓口までお問い合わせください。

【JHPCNに関する問い合わせ窓口】 joint_research@cc.tohoku.ac.jp【JHPCNホームページ】 <http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/adoption.php>